

第2回委員会における委員意見への対応について (2016/12/16 開催)

(1)多摩ニュータウンが目指す将来像について

No	意見要旨	発言者	対応案
1	NTの交通について、地域レベルの都市構造で、市域をまたぐ横つなぎの箇所をしっかりと描いて頂きたい。	齊藤委員 炭谷委員	都市構造の図面に市域間をまたぐ動線を追加→資料3p.51
2	地区レベルの都市構造について、住宅エリア内の機能は、もっと多様化するという視点を意識すると良い。	都市機構	複合的な土地利用イメージを都市構造(地区レベル)に記載→資料3p.53
3	今まで生活都市だったところに、業務機能を誘導していく時に、どういうメリットがあるか。	朝日委員	多摩ニュータウンへの企業進出のメリットを整理→資料3p.19 イノベーション創出に資する取組メニューを追加→資料3p.72

(2)多摩ニュータウン再生に向けた視点と取組メニューについて

No	意見要旨	発言者	対応案
1	取組メニューを、分野別とは別のコンセプトでまとめるかどうか。すぐにやることと、2040年にできているべきこととを時間軸で分けるプロセスプランニングの観点が重要。	岸井委員長 朝日委員 齊藤委員	取組メニューについて再生に向けた視点を切り口としてまとめる。取組メニューに時間軸を追加→資料3p.65
2	パーソナルモビリティについて、圧倒的な高低差にどう対応するか、それをどう実現するかが課題。	都市機構	急勾配に対応した移動支援手段の適用可能性の検討について追記→資料3p.75
3	大学間の交流を促進し、学生の力を生かしてコミュニティビジネス(健康寿命を延ばす取組等)の種を育てる仕組みづくりを行ってはどうか。	岸井委員長 炭谷委員	コミュニティビジネスの立ち上げ支援の促進を取組メニューに追加→資料3p.88
4	2025年に団塊の世代が75歳を迎えるため、高齢化に対応したイメージがあると良い。	朝日委員 炭谷委員	高齢者の外出イメージを追加→資料3p.44
5	公的賃貸と分譲を分けて記載されているが、例えば大規模分譲住宅の建替時の仮住まいを公的賃貸で確保できるなど、NTならではの解決方法があると良い。	齊藤委員	公的賃貸と分譲住宅の連携施策について追記する→資料3p.81
6	NT内での住み替えについて、情報提供程度ではなく、チャレンジングな仕組みを生み出して欲しい。	齊藤委員	住み替え施策について補強→資料3p.87

(3)将来像の実現に向けて

No	意見要旨	発言者	対応案
1	各市域を繋ぐ鉄道事業者を巻き込むことが重要。	岸井委員長	鉄道事業者へのヒアリングを行い、役割について記載を補強→資料3p.93
2	NTという枠組みを保ち続けるのであれば、NT全体をマネジメントする組織について明確に示すべき。	岸井委員長 大沢委員 齊藤委員	ニュータウン全体をマネジメントする体制について検討→資料3p.94
3	新しいライフスタイルを提供するトップランナーとして、再生の取組を世界に発信することが大事。	大沢委員	他のNTや海外をターゲットとした情報発信を追加記載→資料3p.95